

2025 年度 ACY アーティスト・フェローシップ助成
FAQ

申請について

Q. 団体やアーティストコレクティブ、ユニットでも申請できますか？

A. できません。アーティスト個人が対象です。

Q. 年齢制限はありますか？

A. ありません。

採択について

Q. 何名が採択されますか？

A. 4名の採択を予定しています。

Q. 一次選考を通過できない理由を、二次選考前に教えてもらえますか？

A. できません。選考結果は、採択・不採択に関わらず、2025年5月初旬ごろにメールにてご連絡します。

提案内容について

Q. どのような内容を提案したらよいですか？

A. ご自身の創作活動案をご提案ください。リサーチのための、横浜市外への交通費や宿泊費なども対象経費となりますので、「キャリアや作品の中・長期的なビジョンの構築につながるもの」や「横浜の地域住民や滞在拠点とのネットワーク形成や協働を目指すもの」、「横浜の特性を活用した創作を含むもの」を念頭に、独自の視点をもった活動を自由にご提案ください。

Q. 公演や展覧会など、作品の発表義務はありますか？

A. 地域住民と交流する活動（公演、展覧会、試演会、ワークショップなど）を必ず実施してください。

Q. 横浜での滞在は必ずしないといけないですか？

A. はい、連続する6泊7日以上滞在中をしていただきます。滞在中は、地域住民との交流を含め、風景・歴史・食など、地域文化に触れてください。

Q. 地域住民と交流する活動とはどのようなことですか？

A. 公演、展覧会、試演会、ワークショップなどを想定しています。

Q. 地域住民と交流する活動は滞在中に行う必要はありますか？

A. 必ずしも滞在中でなくてもかまいません。滞在中に実施会場を探し、その数か月後に開催しても問題ありません。

助成金について

Q. 滞在中の飲食費は対象になりますか？

A. なりません。滞在中の交際費、接待費、飲食費、諸給与、事務所維持費、生活費も対象外です。

Q. 地域住民と交流する活動に関して、制作費は支給されますか？

A. 助成金以外に別途支給はありません。

Q. 地域住民と交流する活動以外の公演に助成金を使っても大丈夫ですか？

A. 対象経費であれば、使用可能です。

Q. 他都市の美術館や劇場が主催する展覧会や公演のための作品制作するために、助成金を使っても大丈夫ですか？

A. ご本人以外の団体・個人が主催する事業のために制作・発表する作品に関する費用は助成対象外です。

Q. 助成金は所属団体の銀行口座に支払ってもらえますか？

A. アーティスト個人を対象としているため、採択者ご本人の銀行口座に振り込みます。

サポート内容について

Q. どのようなサポートが受けられますか？

A. 滞在中をはじめとした活動の支援や、人材の紹介。また、活動の広報をサポートします。

Q. 記録冊子はどのような内容ですか？

A. 滞在や住民との交流事業の風景、また専門家によるレビューの掲載を予定しています。(2026年3月発行予定)

滞在について

Q. 滞在拠点は希望がだせますか？

A. 希望は承りますが、必ずしも希望の滞在拠点に滞在できるとは限りません。

Q. 6泊7日以上の滞在は可能ですか？

A. 滞在拠点との調整により可能です。申請書内にてご提案ください。

Q. 滞在中はどこに宿泊すればよいですか？

A. 滞在拠点もしくはその付近にて宿泊いただきます。宿泊手配はACYが行います。また、上限額はありますが、滞在拠点の施設利用料、レジデンス料はACYが負担します。